



2017日本ICT教育アワード



草津市における教育情報化 推進体制の構築

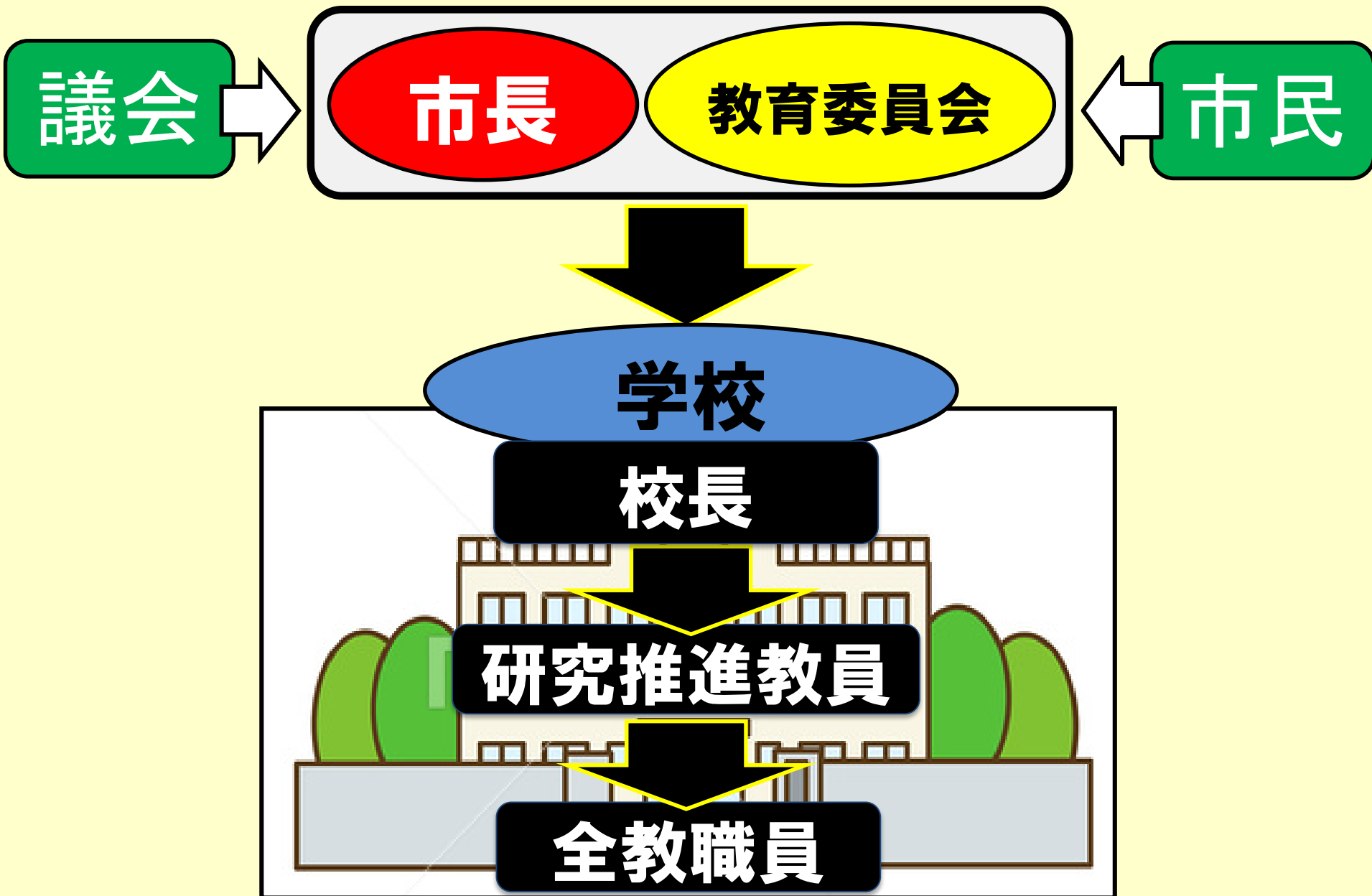
草津市長 橋川 渉



草津市公認マスコットキャラクター
「たび丸」



教育ICT化にかける想い



教育 I C T 化のあゆみ①

H21年度 モデル校(2校)へICT機器導入

電子黒板整備
(全普通教室)

校内LAN整備

校務用PC配布



H22年度 市内全小中学校へICT機器導入

電子黒板整備
(全普通教室)

校内LAN整備
(～H24年度)

校務用PC配布



H23～24年度 デジタル教科書の導入

H23年度
デジタル教科書(小学校)

H24年度
デジタル教科書(中学校)

教育 I C T 化のあゆみ②

H25～28年度 タブレットPC導入

H25年度
モデル校へ導入

H26・27年度
全小中学校へ導入

H27・28年度
小中学校PC室更新

タブレットPC
約**4,800**台導入
【児童生徒**2.3**人に1台】

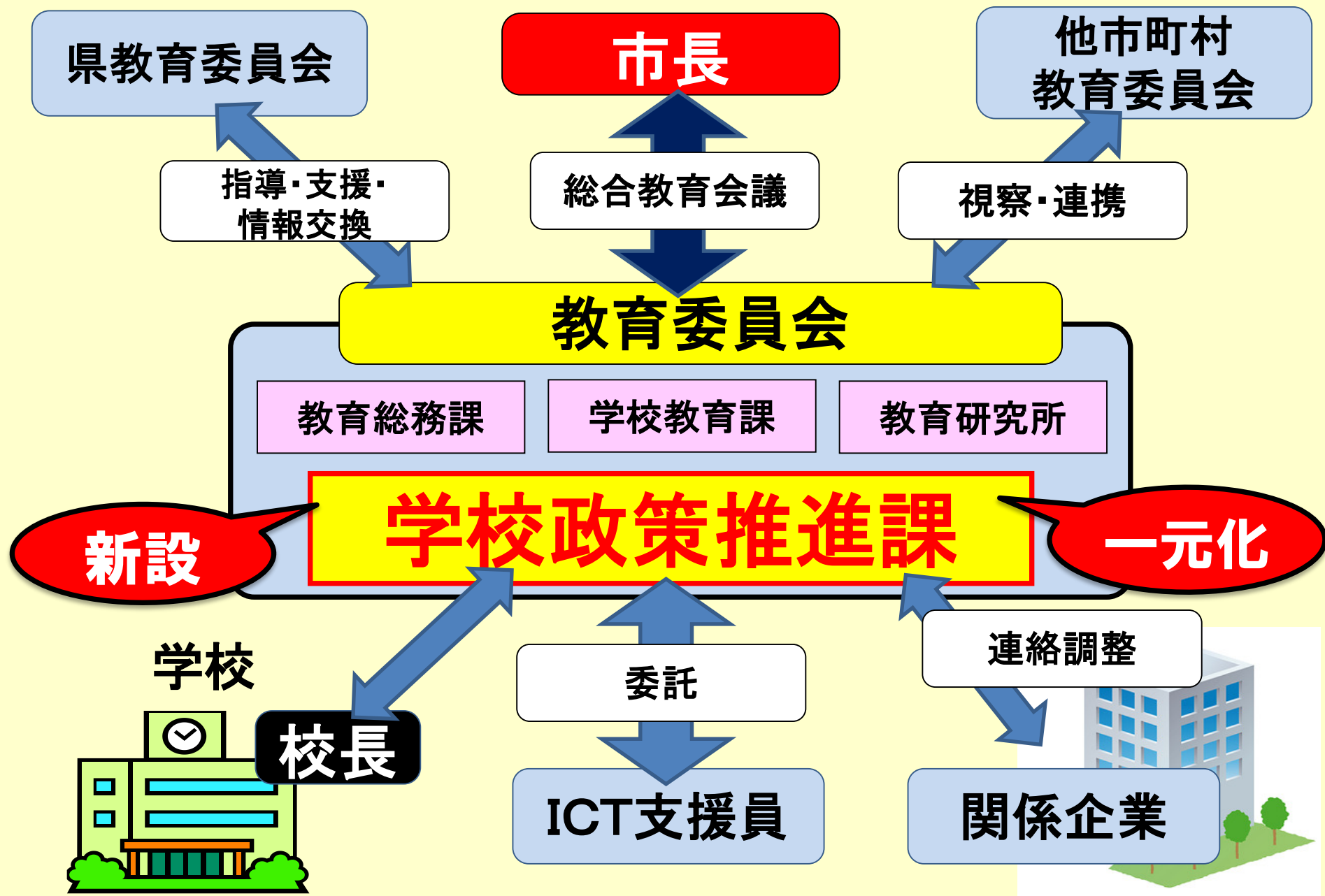
全小中学校3学級ごとに各35台配置
特別支援学級用に全小中学校各10台配置

草津型アクティブ・ラーニングの様子

次期学習指導要領
アクティブ・ラーニング

草津型アクティブ・ラーニングとは…

ICT教育推進のための組織改編

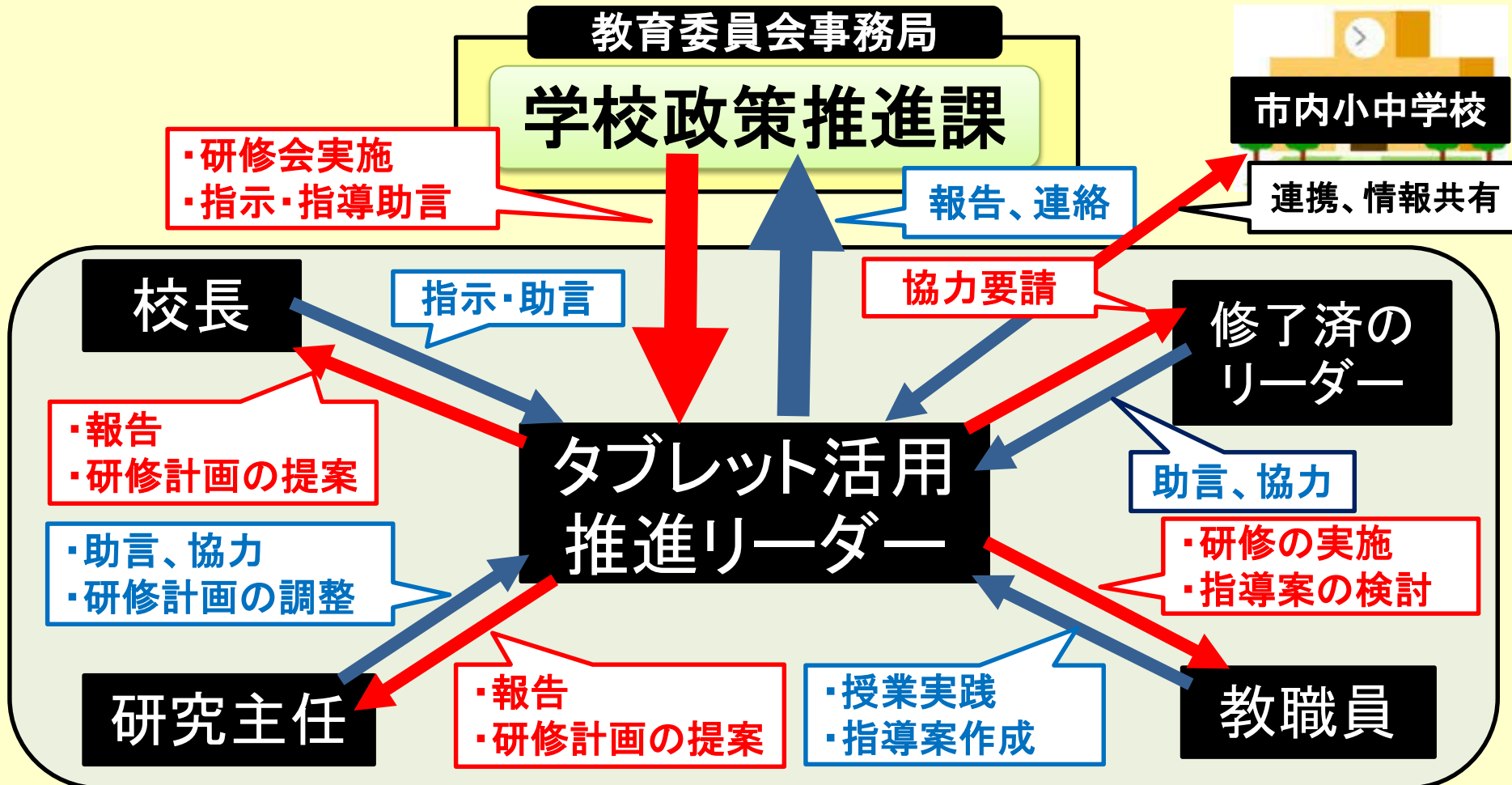


教員研修体制の整備

タブレット活用推進リーダー研修会(年7回開催)

平成26年度からスタート

年度ごとにメンバーを一新 → 毎年、新たなリーダーの育成



教材共有ポータルサイト「たび丸ねっと」の構築



平成28年1月運用開始
【草津市教育ネットワーク内限定】



「たび丸ねっと」トップページ

目的



ログイン後、ホーム画面

☆市内の教職員が作成した優れた教材や指導案、ICTの活用事例などを共有し、実際の授業に活用できる教材共有ポータルサイトを構築し、指導力や授業の質の向上を図る。

「草津市教育情報化推進計画」の策定

『草津市教育情報化推進計画』概要



草津市公認マスコット「たび丸」

計画策定の背景

現代の子どもたちには、従来からの基礎的な知識や技能に加えて、情報活用能力をはじめとする**21世紀型能力**と呼ばれる資質やスキルを身に付けることが必要とされ、学校教育には、**教育の情報化を通じて、21世紀を生き抜く力を育む新たな学習スタイル・授業観を創造**することが求められている。

計画策定の目的

本市学校教育における『教育の情報化』の基本的な考え方と進むべき方向性を明らかにするとともに、**草津市教育振興基本計画等に掲げる目標の達成と各種施策の確実な実行を推進し、全ての児童生徒に「生きる力」につながる学力を身に付けさせる**ことを目的として策定する。

計画の位置づけ

「第5次草津市総合計画第2期基本計画」及び「草津市教育振興基本計画(第2期)」に定める基本方針並びに施策の基本方向を踏まえ、学校教育の情報化を通じた「教育の質の向上」を実現するための具体的な手順や方法、事業の実施スケジュール等を定めた**実行計画(アクション・プラン)**として策定する。

第5次草津市総合計画（構想期間：平成22～32年度）

第2期基本計画（平成25～28年度）

第3期基本計画（平成29～32年度）

草津市教育振興基本計画(第2期)（計画期間：平成27～31年度）

草津市教育情報化推進計画（計画期間：平成28～32年度）

草津市教育振興基本計画
(第2期)施策の基本方向

- ・「子どもの生きる力を育む」
- ・「学校の教育力を高める」
の実現

基本目標

板書やノート指導、表現活動・体験活動といった従来からの基本的な学習スタンス(アナログ)を大事にしつつ、ICT等の最先端技術を活用した授業改善を図り、アナログとデジタルを融合した新たな学びを創造し、子どもたちの確かな学力と生きる力を育む教育を実現します。

基本方針と推進目標(KPI)

◆基本方針①「ICTを活用した効果的な教科指導方法の確立とその定着」

- 【デジタル教科書の学級当たり月平均利用回数】…平均20回／月以上
- 【協働学習におけるタブレット端末の学級当たり月平均利用回数】…平均8回／月以上
- 【授業が分かりやすいと答えた児童生徒の割合】…平均90.0%以上

◆基本方針②「確かな情報活用能力を育成するための体系的な情報教育の推進」

- 【自身の情報活用能力について「できるほうである」と回答をした児童生徒の割合】
- …小学校：平均70.0%以上 / 中学校：平均80.0%以上

◆基本方針③「校務の情報化を通じた教育の質の向上」

- 【校務支援システムによる教員1人当たりの月平均校務削減時間】
- …システム導入前との比較で 平均50時間／年以上
- 【総合教材ポータルサイトへの教職員1人当たり平均アクセス数】…平均10回／月以上

◆基本方針④「特別支援教育におけるICTの活用促進」

- 【特別支援学級におけるタブレット端末の1校当たり月平均延べ利用回数】…平均50回／月以上

◆基本方針⑤「ICTを活用した家庭教育の推進と家庭・地域との連携強化」

- 【協働学習・家庭学習用コンテンツの月当たり総アクセス数】…平均40,000件／月以上
- 【ユニバーサルデザインに配慮したホームページへの改修を行った学校の割合】…100.0%

◆基本方針⑥「教員のICT活用指導力や授業力を高めるための支援体制の充実」

- 【ICT活用指導力について「できるほうである」と回答をした教員の割合】…平均90.0%以上
- 【ICT支援員の業務に占める授業支援の活動割合】…平均70.0%以上

◆基本方針⑦「計画的な環境整備による費用対効果の最大化」

- 【コンピュータ教室における可動式コンピュータの整備率】…100.0%
- 【普通教室における液晶型電子黒板の整備率】…100.0%
- 【普通教室における(常設)無線LAN環境の整備率】…75.0%以上

◆基本方針⑧「情報セキュリティマネジメントの推進」

- 【教育委員会及び学校における情報セキュリティ事故】…重大な情報セキュリティ事故の発生ゼロ
- ◆基本方針①～⑧共通 【学校情報化優良校認定の取得】…認定取得率100.0%

目標達成に向けた取組方策(実施事業)

- ① 草津型アクティブ・ラーニングの全市展開
- ② 系統表を踏まえた年間指導計画の作成とその実践
- ③-1 校務支援システムの活用による校務の効率化
- ③-2 総合教材ポータルサイトの充実と利活用の促進
- ④ 特別支援教育におけるiPadの活用促進と学習用ソフトウェアの充実
- ⑤-1 家庭学習用ドリルコンテンツの普及促進
- ⑤-2 学校ホームページのユニバーサルデザイン化

- ⑥-1 教員のICT活用指導力向上に向けた教職員研修の実施
- ⑥-2 ICT支援員による学校サポート体制の構築
- ⑦-1 コンピュータ教室における可動式コンピュータの導入整備
- ⑦-2 普通教室における液晶型電子黒板の更新整備
- ⑦-3 普通教室における(常設)無線LAN環境の整備
- ⑧ 情報セキュリティ対策の見直しとマネジメント水準の向上
- (共通) 学校情報化優良校の認定取得

毎年度、継続的な
進捗管理(評価)を実施

他の自治体からの視察の受け入れ

市庁舎での
情報交換



小中学校での
授業参観

現地にて
実機体験



他自治体との連携強化
情報交換

平成27年度、**13自治体**
平成28年度、**39自治体**(H29.2/22現在)

「滋賀県市町 I C T 教育推進連絡協議会」の開催

参加自治体
14／19市町

オブザーバーとして
県教委も参加



平成28年11月22日(火) 於:草津市役所

○ICT教育推進状況に関する情報交換
○全国ICT教育首長協議会の動向説明
○意見交換

自治体相互の連携を強化し、
県全体のICT教育の充実を図る